令和6年2月9日から
令和6年2月9日まで

標 茶 町 議 会
第 1 回 臨 時 会 議 録

於 標茶町役場議場

令和6年標茶町議会第1回臨時会会議録目次

第1号（2月9日）

開会の宣告	3
開議の宣告	3
会議録署名議員の指名	3
会期決定	3
行政報告及び諸般報告	3
議案第1号 公の施設に係る指定管理者の指定について	6
議案第2号 工事請負契約の変更について	12
議案第3号 標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	16
議案第4号 令和5年度標茶町一般会計補正予算	18
閉議の宣告	21
閉会の宣告	22

令和6年第1回標茶町議会臨時議会会議録

○議事日程（第1号）

令和5年2月9日（金曜日） 午前10時00分開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期決定
- 第 3 行政報告及び諸般報告
- 第 4 議案第1号 公の施設に係る指定管理者の指定について
- 第 5 議案第2号 工事請負契約の変更について
- 第 6 議案第3号 標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 7 議案第4号 令和5年度標茶町一般会計補正予算

○出席議員（12名）

1番 深見 迪 君	2番 櫻井 一隆 君
3番 本多 耕平 君	4番 鈴木 裕美 君
5番 鴻池 智子 君	6番 齊藤 昇一 君
7番 黒沼 俊幸 君	8番 長尾 式宮 君
9番 松下 哲也 君	10番 渡邊 定之 君
11番 類瀬 光信 君	12番 菊地 誠道 君

○欠席議員（0名）

なし

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した人

町 長	佐藤 口彦 君
副 町 長	牛崎 康人 君
総務課 長	齊藤 正行 君
企画財政課 長	長野 大介 君
管理課 長	山崎 浩樹 君
農林課 長 兼
農委事務局 長	村山 尚 君
住民課 長	村山 新一 君
建設課 長	富原 稔 君
観光商工課 長	三船 英之 君

教 育 長	青 木 悟 君
教 委 管 理 課 長	常 陸 勝 敏 君

○職務のため出席した事務局職員

議 会 事 務 局 長	中 島 吾 朗 君
議 事 係 長	平 間 佳 奈 江 君

(議長 菊地誠道君議長席に着く。)

◎開会の宣告

○議長(菊地誠道君) ただいまから、令和6年標茶町議会第1回臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員12名であります。

(午前10時00分開会)

◎開議の宣告

○議長(菊地誠道君) 直ちに会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名

○議長(菊地誠道君) 日程第1。会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、

8番・長尾君、 9番・松下君、 10番・渡邊君
を指名いたします。

◎会期決定

○議長(菊地誠道君) 日程第2。会期決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は本日1日といたしたいと思えます。

これに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) ご異議ないものと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎行政報告及び諸般報告

○議長(菊地誠道君) 日程第3。行政報告及び諸般報告を行います。

町長から、本臨時会招集理由とあわせ行政報告を求めます。

町長・佐藤君。

○町長(佐藤彦君)(登壇) 第1回臨時町議会の開催に当たり、その招集理由並びに行政報告について申し述べます。

まず、はじめに本臨時会の招集理由であります。釧路湿原かや沼観光宿泊施設の指定管理者の指定と新設排水路の工事契約の変更について、また戸籍法の一部改正に伴う、標茶町手数料徴収条例の一部改正について、また飼料価格高騰に係る酪農経営緊急支援事業

の費用等を盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算について、そのご審議と議決をいただきたく本臨時会を招集したものであります。

次に、令和5年第4回定例会後から昨日までの一般事務及び行政上の経過につきまして、印刷配付のとおりでありますので、それによりご理解をいただきたいと存じます。

なお、次の2点について補足いたします。

1点目は、地方自治法第180条に基づく専決処分についてであります。

このたび、地方自治法第180条第1項の規定により、専決処分を3件行いましたので、同条第2項によりご報告いたします。

1件目は、令和5年10月18日に発生しました交通事故に伴う損害賠償についてです。当該事故は磯分内小学校敷地内において、当方車の運転席ドアを開けたところ、強風にあおられたドアが隣に駐車していた相手方車に接触し、車両に損傷を与えたものです。事故原因は、当方の安全操作が不十分だったためであり、過失割合は町が100%となりました。相手方車両の板金修理費などにつきまして、令和5年12月20日付けで専決処分をさせていただき、同日示談が成立いたしました。

2件目は、工事請負契約の変更です。令和5年第3回定例会において議決をいただき工事を進めております「標茶中茶安別線 道路改良舗装工事」について、当初契約金額1億4,553万円を243万1,000円増額し、1億4,796万1,000円となりました。変更の理由としましては、当初不確定であった排水構造物工、道路付属施設工、構造物撤去工についての数量の確定と入札執行残を使用し、事業の進捗を図るため、工事延長を16.69m増工する拡大設計変更を行ったものです。令和5年12月25日付けで専決処分をさせていただき、同日変更契約を結んでおります。

3件目も、工事請負契約の変更です。令和5年第4回定例会において議決をいただき、工事を進めております「釧路湿原かや沼観光宿泊施設 新設排水路工事」について、当初契約金額1億4,190万円を173万8,000円増額し、1億4,363万8,000円となりました。変更の理由としましては、施工区間の凍結が浅く不安定であるため、敷き鉄板を敷設する必要があり、敷き鉄板及び不整地運搬車による運搬費を増額したものです。令和6年1月16日付けで専決処分をさせていただき、同日変更契約を結んでおります。

2点目は、公用車の事故についてご報告いたします。

令和6年1月5日午後1時50分頃、当方車が道道厚岸標茶線を厚岸方面に走行中、中茶安別交差点から約2.8km過ぎた地点で当方車が対向車線にはみ出し、相手方車と正面衝突したものです。相手方2人は救急車により搬送されましたが、骨折等により相当の治療期間を要すると見込まれております。

当方運転者は怪我はなかったものの、同乗者は通院中であり、双方の車両は走行不能のためレッカー移動されております。お怪我をされました2名の相手方様とご家族様には心よりお詫び申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

また、町民の生命、財産を守るべき町職員がこのような事故を起こしてしまったことについて、町民の皆様に対し改めてお詫び申し上げます。職員に対しては交通安全の励行を指示してきたところではありますが、この度の事故を受けまして、1月9日全職員を対象に交通安全集会を開催し、交通法規の遵守と安全運転の厳守を指示したところであり、今後、このようなことがないように事故の未然防止や安全対策の徹底など再発防止に全力で努めてまいります。

以上で、今臨時会にあたっての招集理由並びに行政報告を終わります。

○議長（菊地誠道君） ただいまの口頭による行政報告に対して、簡易な質疑を認めます。ご質疑ございませんか。

鈴木君。

○4番（鈴木裕美君） 行政報告の公用車の交通事故の件なのですが、大変大きな事故だったというふうに聞き及んでおりますけれども、原因はなんだったのでしょうか。

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） お答えいたします。

事故原因につきましては、当方運転手から眠気によって、意識が薄れたとの報告がありましたのでこれが原因だと思われまます。

○議長（菊地誠道君） 鈴木君。

○4番（鈴木裕美君） 居眠りということは職員の方々に過重な労働といたしますか、そういうのは考えられなかったのか、どうかもう一度伺っておきたいと思えます。

○議長（菊地誠道君） 農林課長・村山君。

○農林課長（村山 尚君） お答えいたします。

今、議員の方から労働状況についてのお尋ねがあったんですけども、運転していたのは当課に所属する会計年度任用職員でございます。ただ、例えば正月明けということもありますけども、特に日常の業務において残業等、それは早朝と勤務時間後もそうなんですけども、時間外労働もございませんですし、そのような状況ではなかったというふうに理解をしております。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

類瀬君。

○11番（類瀬光信君） ただいまの同じ件ですけども、運転していたのが会計年度任用職員の方であったと、これまで正職員と会計年度任用職員の雇用条件の差について、町としては職責の重さの違いであるというふうにずっと言っているわけですけども、運転していたのが会計年度任用職員の方で、同乗していたのは正職員の方という点については、町としてはどのように考えておられますか。

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） お答えいたします。

同職員は通常運転を含んだ業務に従事することもある業務について雇用されているものでありますので、今回のそのような対応をとっておりました。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） なければ、次に議長から諸般報告を行います。

諸般の報告は、印刷配付のとおりであります。

以上で、行政報告及び諸般報告を終わります。

◎議案第1号

○議長（菊地誠道君） 日程第4。議案第1号を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君）（登壇） 議案第1号の「公の施設に係る指定管理者の指定について」の提案趣旨並びに内容についてご説明いたします。

本案は釧路湿原かや沼観光宿泊施設の管理運営につきまして、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間の指定管理者による管理・運営を行うための公募を行ってまいりましたが、このほど、指定管理者の候補者を選定いたしましたので、同条第6項の規定により、議会の議決を求めます。

公募の結果につきましては5団体から申請があり、1月30日開催の第2回指定管理者選定委員会において、指定管理者の候補者として、株式会社共立ソリューションズが選定されました。

以下、内容についてご説明いたします。

議案1ページ、議案説明資料1ページをご覧ください。

議案第1号 公の施設に係る指定管理者の指定について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき下記のとおり公の施設に係る指定管理者を指定することについて、同条第6項の規定により、議会の議決を求めます。

1 指定管理者に管理を行わせる施設の名称及び所在地。名称、釧路湿原かや沼観光宿泊施設。所在地、標茶町字コッタロ原野127番地10。

2 指定管理者となる団体の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地。名称、株式会社共立ソリューションズ。代表者、代表取締役 小山哲郎。所在地、東京都中央区築地2丁目12番10号。

3 指定期間。令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となっております。

続きまして、議案説明資料1ページをお開きください。

指定管理候補者の選定の経過、選定結果、概要についてご説明いたします。

指定管理候補者選定の経過でございます。令和5年10月20日、「標茶町公の施設に係る指定管理者選定委員会」に諮問しております。令和5年11月9日、第1回選定委員会において公募要項及び選定基準の確認、決定をしていただきました。令和5年11月15日から令和6年1月19日、指定管理者の募集としまして、参加表明書の提出、提案書の提案を受けております。令和6年1月30日、第2回選定委員会において申請者による提案説明ヒアリング及び審査、選定をしていただきまして、令和6年1月31日、選定委員会からの答申を受けたところです。

指定管理候補者の選定結果でございますが、選定委員さんの出席者が9名でしたので、900点満点中、評価点が762点です。平均点は84.7点でした。

指定管理候補者の概要でございますが、設立年月日、平成11年12月3日。資本金、2億5,500万円。従業員数、4,371名。業務内容、システム運用、開発・構築、自治体・公共サービスの運営受託、医薬品安全性情報管理となっております。

なお、議案説明資料2ページから61ページは今回のプロポーザルにおいて、株式会社共立ソリューションズより提出された提案書となっております。内容につきましては、指定管理料、宿泊料金、入浴料金等を中心に、共立ソリューションズと協議を進めておりますので、提案書につきましては、参考資料としてご理解いただきたいと存じます。

以上で、議案第2号の提案趣旨並びに内容についての説明を終わらせていただきます。

○議長（菊地誠道君） 本案の審議に入ります。

これより質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

齊藤君。

○6番（齊藤昇一君） 今、説明受けましたけども、公募というのは何社が公募されて、それぞれの点数というのは公表されないのでしょうか、その辺をお聞きしたいです。それぞれ公募された方々が点数どれくらいで、どれくらい差があったのかというのもちよっと確認したいので、できればお示しいただきたいです。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） お答えいたします。

5団体から応募があったということで、先ほどお話をさせていただいたんですが、道内3団体、道外2団体、うちグループが2団体というふうな内容でございます。各候補者の点数につきましては非公表としておりますので、結果についてはお控えしたいと思います。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

松下君。

○9番（松下哲也君） 選定に関する手続きについては、異論はない状態で選定されたと思っております。ただ、確認したいことは先ほど参考資料程度に抑えていただきたいというこの提案書ですけども、その中で確認だけしておきたいんですけども、宿泊料1泊2食で1万5,000円という提案がされているんですけども、例えばこの露天風呂付きのお部屋が2つございます、そういう中で露天風呂付きなんていったら、今、どこを見ても1泊2

万とか、3万とか、4万とかで出てるんですけども、そういうことからいくと、当然、町には宿泊料の上限、条例で1万5,000円というのも決まっておりますけども、そこら辺の条例改正については今後検討されるかどうか、そこら辺だけ確認しておきたいと思います。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） お答えいたします。

料金設定ですけども、提案書の中では1万5,000円からというふうに、1泊2食付きでなっているんですが、ただいま共立さんと料金設定については細かい部分の協議を始めたところですので、今後、料金設定がまとまりましたら、議員の皆様にもお示しして、当然、条例の変更も絡んできますので、説明はさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

鈴木君。

○4番（鈴木裕美君） 議案資料の①なんですけど、先ほど9名の選考選定委員ということですけども、これの構成というのは充て職なのか、その辺を伺っていききたいというふうに思います。

それと、もう一つです。今回、このたくさんの方の会社の考え方の資料いただきました。しかし、私どもとしては十分な議論をしたいというふうに思うんですが、町側の考え方として今回提案したことで、この議案が採択されるという考え方で提案されたんでしょうか。いつもでしたら、例えば全員協議会を開いて、いろんな説明をしてくださるんですけども、今回一発どんでした。それで、町の提案された理由を伺っておきたいなというふうに思います。

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） お答えいたします。

選定委員会の担当課長として、選定委員会の部分をお答えさせていただきます。

当日の出席者9名の内訳でございますけども、委員になっているもののうち、町職員が5名、それから学識経験者として、委員になっていただいている方が2名。それから今回の案件に関しまして、臨時の委員となっただいただいている方。今回の案件に関しましては、経営に関して特別な助言が必要じゃないかということで、臨時委員の方2人、任命させていただくということで、前回、お話をさせていただいておりますけども、その方2名を含みまして、当日出席者9名ということになっております。

○副町長（牛崎康人君） 提案のあり方についてのご質問だったかと思っておりますけども、今、ご質問いただきまして、こちらの方からの議会への気持ちの伝え方が少し足りなかったのかと思っております。実は前回の指定管理者についても、委員会付託されたという経過がありまして、今回も同様に委員会付託されるだろうと、その場で十分な議論をしていただく場があるということで考えていたところでもあります。おっしゃるように全員協議会という方法もあるんですけども、繰り返しになりますけども、他意はなく、あるいは今日この場で皆さんの賛同が得られて議決をいただければ、より早く展開ができるというところで幸いとは感じておりますけども、そういった作業ははしょるつもりはあ

りませんでしたので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

類瀬君。

○11番（類瀬光信君） 料金設定に関して、1万5,000円で1泊2食ということで、これは町内の現在ホテル旅館を営んでいる方々の設定料金と限りなく近いこととなります。この憩いの家の再建の計画が出た当初からずっと根底にあるのは上質な宿泊サービス、食を提供する施設なので、料金は私たちが今まで町内で見えていなかった素泊まり2万円以上、それに食事代もそれなりの価格になるという料金設定なので、町内の既存の宿泊施設とはそこで客層も被らないということで、おそらく旅館業を営む方々、ホテル業を営む方々、納得していた部分だと思うんですけども、今回の1万5,000円で1泊2食というのは、まさにそここのところの客層が仮に違うとしても、利用料金的に言うと完全に重なるんですけども、そこら辺について今後どのようにこの会社とお話をされていく予定ですか。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） 料金設定の部分なんですけども、共立さんの方には、町の考え方としては町内の施設より高く、「議長において発言記録を削除」よりは低めの設定ということはお伝えしていきまして、共立さんから出されているこの1万5,000円については、最低価格というような認識で聞いているところであります。そして全部屋が1万5000円かというところではなくて、今、部屋ごとの料金設定をしていただいている状況ですので、それが出ましたら皆様に説明をさせていただきたいと考えているところでございます。

○副町長（牛崎康人君） ただいまの観光商工課長の答弁の中で、同業の固有名詞が出ておりますので議事録の削除のお許しをお願いします。

（何事か言う声あり）

○議長（菊地誠道君） 後ほど精査して、そのように対応したいと思います。

類瀬君。

○11番（類瀬光信君） すみません、もう1点。

集客の計画を皆さん見てわかると思うんですけども、当該施設に対しては公共交通機関というのはJRしかございません。茅沼駅の無人の駅があるだけで、決して利用するにあたって便利がいいとは言えません。それから集客の中で、過去の最高の数値の3割増しくらいの日帰り客を見てるわけですけども、これまでは送迎バス等もあって、町内からの利用というのはそれなりに皆さん使ってくれてましたけども、そういった集客に対する具体的なお話というのはプレゼンの中であつたんでしょうか。それともし無いとして、町としてはその部分、どのように支援していく予定なのか、何か計画はありますか。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） お答えいたします。

私、選定委員には入っていませんので、その後の共立さんとの話に出てきたところですけども、マイクロバスは1台用意したいというふうに聞いておりまして、茅沼駅、塘路駅

については、予約があるお客様については当然送迎もさせていただきたい。それから、宴会もやりたいというお話を聞いていまして、それにつきましては80キロから100キロ圏内であれば、迎えに行きたいということで話は聞いているところでございます。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

櫻井君。

○2番（櫻井一隆君） 1、2点お聞きしたいと思います。

まずはこの憩の家というか、その名称です。まず一つ聞きたいのはこれの相手方は名称についてどのようなお考えをもっておられますか。町側としてお考えになっていたあの名称を提起したものか、まだ提起していないのか。その名称はどういうふうになっているのか、まずお聞きしたいと思います。

（何事か言う声あり）

○2番（櫻井一隆君） はい、そうです、はい。

（何事か言う声あり）

○2番（櫻井一隆君） もう1回言います。愛称です。愛称についてご提案したのか、町側のお考えを相手に示したのか、示していないのか、それをお聞きいたします。聞かせてください。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） お答えいたします。

今、愛称の候補として挙がっているぽんぽんゆですけども、これについては共立さんにはお伝えをしております。特段これについて、良いですとか、悪いですとか、そういう判断はいただいておりませんが、特に抵抗はないということでは聞いているところでございます。

○議長（菊地誠道君） 休憩いたします。

休憩 午前10時30分

再開 午前10時33分

○議長（菊地誠道君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） 先ほどの愛称について、補足をさせていただきます。

これでいくという話はしておりませんので、候補としてこういうのが挙がっているというお話をさせていただいておりますので、ご理解をお願いします。

○議長（菊地誠道君） 櫻井君。

○2番（櫻井一隆君） もう1点お聞きしたいのが、この説明書の5ページの下の方に書いていますが、標茶町民の方については、引き続き割引料金を設定させていただきたいと。これは入浴料については書いておられると思うんですが、地域において敬老会だとか、地域会が温泉を使って1泊したいというときには、そういう料金はどういうふうになるんで

しょう。割引ということも町としても要請していかれるのか、町民は非常に楽しみにしているとか、そういうことだと思いますから、町のお考えをまず聞いて、向こう側にお伝えしているのかどうか、それを確認したいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（菊地誠道君） 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長（三船英之君） お答えいたします。

先ほども宿泊料金の設定についてご質問があったんですが、入浴料金につきましても、まだ設定している段階ですので、今ここでお答えできないんですが、地元割という言葉が使われていますので、その辺の設定は何かしらあると、今のところ認識しているところですが、現在、具体的な数字は出されていませんので、もう少々お待ちいただければと思います。

○議長（菊地誠道君） 櫻井君。

○2番（櫻井一隆君） 相手方が回答というか態度を待っていると、答えを待っているということなんですか。それともこちらの方から、標茶町としてこういうふうにしていただきたいという要請というか、要望はできるものなのですか、そこらはどう考えていますか。

○議長（菊地誠道君） 副町長・牛崎君。

○副町長（牛崎康人君） お答えいたします。

指定管理料も含めて、経営全般に関わって経営の非常に大きな部分になってくると思いますので、要望してもどこまで実現できるかわかりませんが、地元の皆さんの声として、使いやすいとかそういった要望が強くなる中で、入浴料、宿泊料、その他宴会、それについても何かしらの優遇措置がとれないものかという投げかけは、こちらのほうからしていきというふうに考えています。ただ、あくまでも協議でありまして、最終的には経営が成立するかどうかという判断になってくるかと思っておりますので、そこについてはご理解いただきたいと思います。

（「わかりました」との声あり）

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） 質疑はないものと認めます。

これで、質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となりました議案第1号は、議長を除く全員で構成する「議案第1号審査特別委員会」を設置し、これに付託のうえ、閉会中継続審査とすることにいたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） ご異議ないものと認めます。

よって、ただいま議題となりました議案第1号は、議長を除く全員で構成する「議案第1号審査特別委員会」を設置し、これに付託のうえ、閉会中継続審査とすることに決定

いたしました。

お諮りいたします。

ただいま「議案第1号審査特別委員会」に付託しました議案第1号については、会議規則第44条第1項の規定により、2月29日までに審査を終了するよう期限を付けることにしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) ご異議ないものと認めます。

よって、議案第1号については、2月29日までに審査を終了するよう期限を付けることに決定しました。

◎議案第2号

○議長(菊地誠道君) 日程第5。議案第2号を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

管理課長・山崎君。

○管理課長(山崎浩樹君)(登壇) 議案第2号の提案趣旨並びに内容についてご説明いたします。

本案は、「釧路湿原かや沼観光宿泊施設 新設排水路工事」について、既設の排水管を入れ替えるための増額設計変更による契約額の変更を行いたいというものでございます。当初設計では、憩の家の温泉水が排水されていた期間中に漏水は確認されていなかったことから、既存の排水管をそのまま使用することとしておりました。

この既存の排水管は塩ビ管が使用されております。塩ビ管の耐用年数は一般的に50年程度と言われており、設計変更により排水管の入れ替えを行いたい場所は、敷設から27年経過しております。本工事を実施している状況下においては、現地への侵入は冬期間以外困難であり、漏水などが発生した場合は緊急の対応ができないことを考慮し、安心な排水ルートを確保できるように、既設排水管を塩ビ管から高耐熱ポリエチレン管に入れ替えたというものです。

以下、内容についてご説明いたします。

議案書の2ページと議案説明資料の62ページをご覧ください。

議案第2号 工事請負契約の変更について

令和5年12月6日議案第81号をもって、議決を経て締結した「釧路湿原かや沼観光宿泊施設 新設排水路工事」の請負契約を次のとおり変更する。

契約金額「1億4,363万8,000円」を「1億5,947万8,000円」に変更する。

資料へまいります。

変更理由でございますが、既設排水管路の排水管入替えによる拡大設計変更及び概数確定のため、延長102メートル増工し、契約金額を1,584万円増額する変更を行いたいというものでございます。

資料、次のページです。

地図上の赤い部分が今回変更する箇所でございます。

以上で、議案第2号の提案趣旨並びに内容説明を終わります。

○議長（菊地誠道君） 本案の審議に入ります。

これより質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

類瀬君。

○11番（類瀬光信君） 2点伺います。

設計変更が必要になった理由について、説明頂きましたけども、それは当初からわかっていたことではないのでしょうか。常識的にそういった状況というのは考えられる、わかりきっていたことのような気がするんですが、その点、まったく着手するまでわからなかったのかどうかということが1点。

それと工事に関しては、12月の時点で予定価格に対する、落札率が90パーセントを切るという、標茶町の公共工事、以前資料頂いたときに1億超える分について、97パーセント、98パーセントぐらいの高い落札率のものしかないんです。9割切るというようなことってというのは、私は初めて見ました。という点でそもそも設計に何かしら足りないところは例えなかったのかの2点について伺います。

○議長（菊地誠道君） 建設課長・富原君。

○建設課長（富原 稔君） 工事に関する質問にお答えいたします。

当初から排水管の部分について、わかっていたことではないのかという部分につきましてですけども、当初設計する段階においては必要最小限な部分で何とか出来ないかということを考えておりました。その部分で新設ルートとなる部分のみ、新しい管という形で設計しておりましたけども、今回実際工事を施工するにあたって、その湿地の状況とかを判断したときに、とてもじゃないけど冬季間でも先ほど専決処分の承認いただいた部分でございますけども、敷き鉄板を引かないと湿原の部分を渡っていけない状況であって、仮に既設の排水管に何かトラブルが起きた時にそこに到達することが、今の現状の工事の状況でいくと、今の隣接の地権者の土地を排水管の部分については通れないという条件下で施工しておりますので、その部分を考えてときに、非常に厳しい状況に陥るだろうと。今回、配管している工事の資材については融着をすることによって、通常よりも外れない丈夫なもので、対応年数もメーカーでは50年と言っていますけども、50年以上持つだろうと。

これはちょっとまだ製品に対しての実績があまりないものですから、試験という部分で、メーカーの保証で言ったら50年以上持つという回答も得られていますので、既存の塩ビ管の寿命が一般的に50年。これは使用状況によって、前後しますけども50年といわれる中でも半分以上の年数が達したものについて、そういう状況下で工事するのは非常に難しいことを判断しまして、今回、将来的にわたって、安全に排水ルートの確保という部分で、設計変更をさせていただいたところでございます。

(何事か言う声あり)

○建設課長(富原 稔君) 落札の部分につきましては、予定価格の資料が私の手元にな
いので確認させてください。

(「休憩…」との声あり)

○議長(菊地誠道君) 休憩いたします。

休憩 午前10時46分

再開 午前10時51分

○議長(菊地誠道君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

建設課長・富原君。

○建設課長(富原 稔君) 先ほどの落札率の関係なんですけども、予定価格が一番最初
の段階で1億3,177万円に対して、落札金額の額が1億2,900万ということで、落札率が
97.9パーセントということで、もともと落札率が90パーセントを切っている状況ではなか
ったということでございます。また、設計の中で不備があったのかという部分につきまし
ては、私どもは不備がなかったと考えております。

○議長(菊地誠道君) 類瀬君。

○11番(類瀬光信君) わかりました。

落札率の部分、予定価格ではなくて、予算の額で考えてしまいましたので。要は町の設
計としては1億6,000万を超えていて、実際の落札が1億4,000万で落札されていたの
で、そこのところ今までずっと仕事見させていただいて、いつもきちきちで落札されてい
る。それで予算そんなに多く余すことのないような仕事をされていたので、今回に関して
言うと、2,000万残っていて、1,500万を実際に工事やってみ、状況が変わったので充てる
ことに関しては特段異論はないです。ただ、今回追加で設計変更されたように、何かしら
見落とされている分とか、余分に見てる部分があって、予算が多くなったのかというこ
とをお聞きしたかったので、予定価格が予算とは違うということでしたら、それは私の方
の認識の誤りでした。

(「答弁らない…」との声あり)

○議長(菊地誠道君) ほかにご質疑ございませんか。

齊藤君。

○6番(齊藤昇一君) 先ほどの専決の絡みもあるんですけど、湿地帯の中に入るときに
不整地運搬車、これは敷き鉄板敷かなくても自走できるというか、湿地帯の中で自走でき
ることなのかお聞きしたい。というのは、来週10度くらい気温が上がるので、それ
で1週間くらい続いたときに、実際に最終的に工事の工期も変更されていないというこ
とで、変更したら大変なことになると思うんです。暖かくなって湿地が凍土を抜けてしま
うので、その時に敷き鉄板だとか、最終的に回収できなくなるということは想定してい
ないんでしょうか、ちょっとそれが心配だと思って。

○議長（菊地誠道君） 建設課長・富原君。

○建設課長（富原 稔君） 当初なんですけども、私もずっと土木の方やってて、経験値的に言って、冬期間であれば普通の土の部分でも、12月くらいからしばれが入ってきて、そしてちょうど工事の1月中くらいというのは少なくとも45センチ、多いところでは1メートル近く凍結してますと。後、水についても、塘路湖見たらわかるように、40センチとか50センチとかいうしばれが入って状況だったんですけども、今年、暖冬の影響もあるせいなのかわからないんですけども、特に湿地の部分については実際に工事した中で、凍結深が10センチ程度しか入っていませんでした。その部分については、私どもも工事をやる中で、まったくの想定していなかったような状況で、湿地だから下に水の流れがあったりだとか、水があるからそういう熱で凍結しないのかというのはちょっと私もわからないんですけども、本当にそういう部分で、これはもともと予定していた、しばれていたところをバックホーで走行するという部分については、まったく不可能だと。

実際、専決処分をしていただいた、1月16日のあと、準備をするためのバックホーが片側埋まってしまって、とてもじゃないけどそこを走行できない状況だったというのが、実際のところとして確認もできておりましたので、そこで敷き鉄板の必要性については問題なかったと思っております。それで敷き鉄板を運搬するために、釧路川からその湿地の部分までは7、800メートルの距離ありますので、その部分を普通のトラックで運搬するというのはちょっと厳しかったということで、不整地運搬車、要はキャタのついたダンプみたいな形のものを計上させていただき、その敷き鉄板の上についても、がたがたしていますので、そのままじゃ走れないので、資材を運搬するためには不整地運搬車が必要だということで、今回見させていただいております。

そして敷き鉄板の回収については先ほど議員がご心配の通り、私どもも非常に懸念しております、大至急でやって、奥から仕上げてきて、鉄板を引き上げながら戻ってくるというように、実際現場の方としても、業者さんもその辺の天候については非常に気にしているところがありまして、なんとか急いでやるよという状況の中では話しているんですけども、ちょっとその部分については安心できない部分がありますけども、最大限そういうことがないように、努力してまいります。

（「ちょっと最後に…」との声あり）

○議長（菊地誠道君） 齊藤君。

○6番（齊藤昇一君） ということは回収できなかつたらリース料は1年間またかかるといことです。要するに回収できなかつたら、冬期間しか入れませんからそういうことになります。また、工事費がかさむということになりますので、現場の人にがんばれと言っても、気候の問題なので、なかなか難しいところありますけども、ぜひとも回収できるように努力していただければと思っております。

○議長（菊地誠道君） 建設課長・富原君。

○建設課長（富原 稔君） そういうことが起きないように最大限努力いたしますので、ご理解願います。

○議長（菊地誠道君） ほかにご質疑ございませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） 質疑はないものと認めます。
質疑は終結いたしました。
これより討論を行います。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） 討論はないものと認めます。
これより本案を採決いたします。
本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） ご異議ないものと認めます。
よって、議案第2号は原案可決されました。

◎議案第3号

○議長（菊地誠道君） 日程第6。議案第3号を議題といたします。
本案について、提案理由の説明を求めます。

住民課長・村山君。

○住民課長（村山新一君）（登壇） 議案第3号、「標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について」の提案趣旨並びに内容についてご説明いたします。

本案につきましては、戸籍法の一部を改正する法律の施行及び地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもので、内容といたしましては本籍地以外の市町村でも戸籍証明書、除籍証明書が請求できることとなる、いわゆる広域交付が本年3月1日から開始となり、また、電子データ化された届出等情報の内容証明や閲覧の事項を追加し、また、戸籍・除籍電子証明書提供用識別符号の発行事務の手数料を新たに追加し、それらに関する文言を整理し、改正するものであります。

以下、内容についてご説明いたします。

議案書の3ページをお開きください。

また、議案説明資料64ページからは新旧対照表となっておりますので、併せてご覧ください。

議案第3号 標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものです。

次ページに参ります。

標茶町手数料徴収条例の一部を改正する条例

標茶町手数料徴収条例（平成12年標茶町条例第5号）の一部を次のように改正するものです。

本改正につきましては、別表第2項中の改正であり、広域交付に係る電子データ

化された情報を含む表現とした字句の整理及び電子証明書提供用識別符号の発行手数料の追加、また、個人番号カード再交付は委託事業として行っており、現状に合わせ削除する内容とするものでございます。

以下、改正分に参加します。

別表第2項中第1号、「(1) 戸籍の記録事項証明書(磁気ディスク)、(2) 除籍の記録事項証明書(磁気ディスク)」を「(1) 戸籍証明書の交付、(2) 除籍証明書の交付」に改め、

「(6) 届出・申請の受理又は届出その他の記載事項の証明書」を「(6)届出・申請の受理、届出その他の記載事項又は届書等情報の内容の証明書」に改め、

同項中第15号を第17号とし、第14号を第16号とし、第13号を第15号とし、第12号を第14号とし、第11号を第13号とし、

次ページに参加します。

第10号を第12号とし、第9号を第11号とし、

「(8) 届出その他の書類の閲覧、1件につき 350円」を「(8) 届出その他の書類又は届書等情報の内容を表示したものの閲覧1件につき350円」

次は追加になりますが、

「(9) 戸籍電子証明書提供用識別符号の発行(情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律(平成14年法律第151号)第7条第1項の規定により同法第6条第1項に規定する電子情報処理組織を使用する方法(総務省令で定めるものに限る。以下この号及び第10号において同じ。))により戸籍電子証明書提供用識別符号の発行を行う場合(当該発行に係る戸籍電子証明書の請求が同条第1項

次ページに参加します。

の規定により同項に規定する電子情報処理組織を使用する方法により行われた場合に限る。)における当該発行及び戸籍電子証明書提供用識別符号の発行に係る戸籍電子証明書の請求を行う者が同時に当該戸籍電子証明書が証明する事項と同一の事項を証明する戸籍証明書の請求を行う場合における当該発行を除く。)

前ページに記載しておりますが、

「1件につき 400円」

「(10) 除籍電子証明書提供用識別符号の発行(情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律第7条第1項の規定により同法第6条第1項に規定する電子情報処理組織を使用する方法により除籍電子証明書提供用識別符号の発行を行う場合(当該発行に係る除籍電子証明書の請求が同項の規定により同項に

次ページに参加します。

規定する電子情報処理組織を使用する方法により行われた場合に限る。)における当該発行及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行に係る除籍電子証明書の請求を行う者が同時に当該除籍電子証明書が証明する事項と同一の事項を証明する除かれた戸籍の謄本若

しくは抄本又は除籍証明書の請求を行う場合における当該発行を除く。）」

前ページに記載しておりますが、

「1件につき 700円」に改め、

「(16) 住民票広域交付手数料、1件につき 200円」

「(17) 個人番号カード再交付手数料、1件につき 800円」を

「(18) 住民票広域交付手数料、1件につき 200円」

に改める。

次ページに参ります。

附則といたしまして、

この条例は、令和6年3月1日から施行するものであります。

以上で、議案第3号の提案趣旨ならびに内容の説明を終わります。

○議長（菊地誠道君） 本案の審議に入ります。

これより質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） 質疑はないものと認めます。

質疑は終結いたしました。

これより討論を行います。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） 討論はないものと認めます。

これより本案を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（菊地誠道君） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第3号は原案可決されました。

◎議案第4号

○議長（菊地誠道君） 日程第7。議案第4号を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

企画財政課長・長野君。

○企画財政課長（長野大介君）（登壇） 議案第4号の提案趣旨についてご説明いたします。

本案につきましては、令和5年度一般会計補正予算第11号であります。

配合飼料価格が高止まりする中、輸入飼料から道産飼料への転換を進めるため、良質な飼料生産の維持・拡大に取り組む酪農家を支援する目的で、北海道において、経産牛1頭当たり5,000円の支援金を交付することが決定されたため、本事業に合わせて国の物価

高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、本町独自で経産牛1頭当たり1,500円の補助金を交付する、「飼料価格高騰に係る酪農経営緊急支援事業」などに資するため、歳入歳出それぞれ3,551万3,000円を追加し、総額を125億1,751万6,000円としたいというものでございます。

歳出の主なものを申し上げますと、子育て支援医療費等還元事業300万円、公用車修繕費280万円などとなっています。

歳入につきましては、それぞれの特定財源を見込み、地方交付税の増額で収支のバランスを図ったところであります。

また、繰越明許費で1件の提案をいたしております。

以下、内容についてご説明いたします。

補正予算書1ページをお開きください。

令和5年度標茶町一般会計補正予算（第11号）

令和5年度標茶町の一般会計補正予算（第11号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,551万3,000円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ125億1,751万6,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費の補正）

第2条 繰越明許費の補正は、「第2表 繰越明許費補正」による。

以下、内容について歳入歳出補正予算事項別明細書に従いご説明いたします。

9ページをお開きください。

（以下、補正予算説明書に基づき説明のため、記載省略）

なお、2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算補正」につきましては、ただいまの説明と重複いたしますので説明を省略いたします。

4ページをお開きください。

「第2表 繰越明許費補正」でございます。

2款総務費、1項総務管理費、事業名が公用車修繕、新規の設定でございます。補正後が320万円とするものです。

以上で、議案第4号の提案趣旨並びに内容の説明を終わらせていただきます。

○議長（菊地誠道君） これより質疑を行います。

初めに第1条、歳入歳出予算の補正、歳出、一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

松下君。

○9番（松下哲也君） 先ほどの負担金、補助金のうちの別紙の中で、2,962万5,000円。先ほどの経産牛1頭当たり1,500円を一律交付するというのでいいのでしょうか、確認だけです。だいたい経産牛で言うと約2万頭弱になりますけども、確認だけもう一度いた

します。

○議長（菊地誠道君） 農林課長・村山君。

○農林課長（村山 尚君） お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、町内の酪農家さん、あくまでも月齢ではなくて経産牛、子供を産んでいる親牛、搾乳牛が対象となります。対象となる頭数につきましては1万9,750頭。これは道の自給飼料生産支援、酪農対策事業の取りまとめの実績の数字でございます。それが1万9,750頭となっております。

○議長（菊地誠道君） 深見君。

○1番（深見 迪君） 一括なんで一括して質問しますが、この公用車の修繕料の内容を教えてくださいのと、商工費の8万8,000円の補償費というのはどういう内容ですか。

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） お答えいたします。

車両管理費の修繕料の関係です。

今回280万修繕料の補正を要求させていただいていますが、内訳といたしましては今後、車検とそれに伴う整備が11台で約260万円と見込んでおります。そこに今回事故による修繕が2件ありまして、それぞれ80万円と320万円あります。それを合わせまして、現時点の予算残額と照らし合わせた結果、280万円の不足となりますので、280万円の補正を要求させていただいています。

（「修理の…」という声あり）

（「ごめんなさい」という声あり）

（何言かいう声あり）

（「わかるように説明して」との声あり）

（何言かいう声あり）

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） すみません、失礼いたしました。

修理の内容ということでお答えいたしたいと思いますが、1台80万円の方が車の前の方から後ろの方にかけてこすったので、その修理が一つあります。それから320万円の方がフレームですとか、後はボディも前の方つぶれている状態でありまして、これを一括して直すのに、これから車を開けてみないと完全に確定ではない、見込みだということであげざるを得ないんですけども、現時点の見込みとして320万円ということで見積もりが上がってきております。

○議長（菊地誠道君） 深見君。

○1番（深見 迪君） 私読み取れないのでよくわからないんですけども、ここに計上されている280万の修繕料、この内容はなんですかということ聞いております。

（「手持ちの予算ですね、手持ちの予算が…」との声あり）

○議長（菊地誠道君） 管理課長・山崎君。

○管理課長（山崎浩樹君） すみません、失礼いたしました。

現時点の予算の残額が382万7,000円ございます。それで、これからかかる見込みのものが、先ほど申しました車検の関係で260万円。それから修理の関係で80万円と320万円です。合わせて400万円。合わせますと、使用予定が…ごめんなさい。

(何言かいう声あり)

○管理課長(山崎浩樹君) これからの使用予定が660万円ございますので、差し引きしまして、今回280万円の補正をさせていただいております。

○議長(菊地誠道君) 観光商工課長・三船君。

○観光商工課長(三船英之君) 7款の補償費についてお答えいたします。

補償の内容につきましては立木補償になります。茅沼地区の旧排水路と調整池の復旧工事の関連でございまして、当初は南側ルートを想定していたんですが、地権者様と協議した結果、畑の横を通る西側のルートの提案がありまして、工事内容を精査した結果、そちらの方が安く施工できるということでルートを変更しています。それに伴って立木補償、当初、72本の補償を見てたんですが、142本になりまして、差額の8万8,000円を補正としてあげさせていただいているところでございます。

○議長(菊地誠道君) ほかにご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) なければ、第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) 次に、第2条、繰越明許費の補正について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) 質疑はないものと認めます。

質疑は終結いたしました。

これより討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) 討論はないものと認めます。

これより議案第4号を採決いたします。

議案第4号は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(菊地誠道君) ご異議ないものと認めます。

よって、議案第4号は原案可決されました。

◎閉議の宣告

○議長(菊地誠道君) 以上をもって、本臨時会に付議された事件の議事は全部終了いた

しました。

これで本日の会議を閉じます。

◎閉会の宣告

○議長（菊地誠道君） 以上で、令和6年標茶町議会第1回臨時会を閉会いたします。

（午前11時23分閉会）

以上、会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

標茶町議会議長 菊地誠道

署名議員 8番 長尾式宮

署名議員 9番 松下哲也

署名議員 10番 渡邊定之